

1. 科目名 (単位数)	教育課程論 (初等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE1103 SJTC3411
2. 授業担当教員	駒井 隆治		
4. 授業形態	講義、討議や発表学習を中心に	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教育学概論 (初等) の単位を取得してから履修することが望ましい。小学校教諭の資格取得を目指す者とする。		
7. 講義概要	「学校において編成する教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容や児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。」ことを理解するとともに、児童や地域の実態に即し目指す資質や能力を明らかにするとともに、カリキュラムマネジメントの視点から各教科の内容を教科横断的に組織する必要性について理解する。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について様々な視点で考えることができる。		
8. 学習目標	1. 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 3. 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	○1 単位時間ごとにキーワードを含めた要点をまとめて提出すること。 ○自分の意見や考えをもって、話し合い活動に自発的に参加すること。 ○学修したことを生かして「これからの教育課程」について考え、最終回に小論文にまとめること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 山崎保寿『未来を拓く教師のための教育課程論』学陽書房、2019 【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領 (平成 29 年度告示)「総則」』東洋館出版、2018		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1 教育課程の意義について理解し、説明できる。 2 近代及び現代日本の教育課程の歩みと教育課程をめぐる現状と課題を理解し、説明できる。 3 学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解、説明できる。 4 指導案の作成、模擬授業の実施を通して、学習過程や成果などを PDCA サイクルにて考えることができる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。		
12. 受講生へのメッセージ	①毎回、授業の最後にリアクションペーパーを提出する。 ②期末試験は行わず、期末レポート (1,000 字程度) を提出する。 この科目の学修には、上記①と②の提出及び毎回の授業への積極的な参加が必須である。やむを得ず欠席 (公休も含む) した場合には、授業の資料を熟読して 200 字程度コメントを書いて次回まで提出する。		
13. オフィスアワー	随時授業時間内で知らせます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	【オリエンテーション】講義の概要や成績評価方法等を知る。教育課程の概要を知る。	事前学習	教科書で近代の教育方法の歴史を調べる。
		事後学習	教育課程の定義・構造・変遷を整理する。
第 2 回	○教育課程に関する法制及び行政等について調べる。学ぶ意義を確かめる。	事前学習	通学した学校の時間割について考えておく。
		事後学習	教育課程を学ぶ意義についてまとめる。
第 3 回	○教育の基本的な方法と技術について調べる。教育方法や学習指導の方法を知る。	事前学習	教育方法と学習指導の方法の違いを調べてくる。
		事後学習	教育方法と学習指導の方法の違いを整理する。
第 4 回	○学習指導要領の改訂の変遷を調べる。学習指導要領のキーポイントを確かめる。	事前学習	学習指導要領「総則」を読んでくる。
		事後学習	学習指導要領のキーポイントをまとめる。
第 5 回	○「総合的な学習の時間」の創設の経緯と実践事例を調べる。	事前学習	「総合的な学習の時間」の自己の経験を述べる。
		事後学習	この時間の趣旨と実践事例のかかわりを整理する。
第 6 回	○カリキュラムマネジメントの理論と実践を調べ、そのモデルを知る。	事前学習	教科書でカリキュラムマネジメントを調べてくる。
		事後学習	カリキュラムマネジメントのモデルを確認する。
第 7 回	○カリキュラム評価と学校評価との関係性を調べる。	事前学習	学校評価の事例を調べる。
		事後学習	学校評価の具体例をまとめる。
第 8 回	○カリキュラムマネジメントの実施プロセス・評価について調べる。	事前学習	カリキュラムマネジメントの事例を調べてくる。
		事後学習	カリキュラムマネジメント実施の方策をまとめる。
第 9 回	○アクティブ・ラーニングの実践について調べる。	事前学習	アクティブ・ラーニングの定義について調べる。
		事後学習	アクティブ・ラーニングの意義についてまとめる。
第 10 回	○アクティブ・ラーニングとカリキュラムマネジメントの関係について調べる。	事前学習	アクティブ・ラーニングとカリキュラムマネジメントの違いを調べてくる。
		事後学習	アクティブ・ラーニングとカリキュラムマネジメントの連動についてまとめる。
第 11 回	○「社会に開かれた教育課程」とカリキュラムマネジメントの関係性を調べる。	事前学習	「社会に開かれた教育課程」資料を調べてくる。
		事後学習	理念と背景についてまとめる。
第 12 回	○「開かれた学校づくり」とカリキュラムマネジメントの関係性を調べる。	事前学習	「開かれた学校づくり」の資料を調べてくる。
		事後学習	望ましい教育環境についてまとめる。
第 13 回	○学校単位におけるカリキュラム開発と学校経営の関係について調べる。	事前学習	学校経営の資料を調べてくる。
		事後学習	カリキュラムと学校経営の関係を整理する。
	○カリキュラムマネジメントと学校評価の PDCA	事前学習	学校評価の事例を調べてくる。

第14回	サイクルの意義について調べる。	事後学習	学校評価の実施方法について整理する。
第15回	○「これからの教育課程」について考え、小論文に書いてまとめる。	事前学習	これまでの教育課程についての学びを振り返る。
		事後学習	これからの教育課程についての自己の考えをもつ。